

家庭菜園栽培者の皆さまへ

トマトの病害(トマト黄化葉巻病)の まん延防止にご協力ください！

トマト黄化葉巻病は、植物のウイルス病で、発病すると治すことができません。このため、九州・東海地方を中心にトマトの生産に大きな被害を与えています。最近、関東地方にも広がりはじめているため、関係者が一体となってまん延防止に取り組んでいます。家庭菜園でトマトやミニトマトを作ったとき、こんな症状が出たらご注意ください！！

症状

この病気にかかったトマトは、新葉が黄色くなって表側又は裏側に巻き、上位部が萎縮します。さらに成長が止まってしまうため、そこから先端は実がつかなくなってしまう。この病気は発病すると治すことができません。



写真 典型的な葉の萎縮と黄化・葉巻症状



伝染

この病気は**タバココナジラミ**という小さな虫が媒介します。一旦ウイルスを保毒した**タバココナジラミ**は死ぬまで**伝搬**能力があります。この虫は、トマト以外に、きゅうり、スイカ、かぼちゃ、なす、さつまいも、いんげん、えだまめ、ヤーコンなどのほか、多くの野菜・花・雑草で増殖します。



タバココナジラミの成虫(写真左)は、体長0.8mm程度で羽が白く、体色は淡黄色。幼虫(写真右)は、黄色で、扁平な体の背面がわずかに盛り上がっています。成虫・幼虫とも、葉の裏に付いて吸汁します。成虫は葉をゆらすと舞い上がります。

家庭菜園栽培者の皆さまに協力をお願いしたいこと

① 感染したトマト株の抜き取り処分

感染したトマト株は、重大な**伝染源**となります。すみやかに虫ごと透明のビニール袋に入れ、日光に当てて高温にして虫を死滅させてから、土に埋めて処分してください。(感染トマトの果実は食べても差し支えありません)

② タバココナジラミの防除

タバココナジラミを**トマトや周辺の野菜、花**で見つけたら、家庭園芸用殺虫剤等で、防除をお願いします。

③ 畑の片付けや除草

タバココナジラミを減らすため、収穫後の野菜株や咲き終わった草花、雑草を放置せず処分することや、畑周辺の**除草(雑草の除去)**をお願いします。

病気のまん延を防止するためには伝染源を断つことと、病気を媒介する**タバココナジラミ**を地域ぐるみで防除することが大切です。

ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせは下記または、最寄りの農業振興事務所経営普及部へ

栃木県農業環境指導センター 028-626-3086

栃木県農政部経営技術課 028-623-2322